

2005年（平成17年）度  
領事業務・システム最適化実施評価報告書

2006年（平成18年）8月24日  
外務省情報化推進委員会決定

1. 領事業務・システムの概要

項 目	内 容
個別管理組織担当課室名	外務省 領事局 政策課／外国人課／旅券課
府省全体管理組織 担当課室名	外務省 大臣官房 情報通信課
対象期間	2005年4月1日～2006年3月31日
最適化工程の段階	企画段階
業務・システム最適化の 概要	電子政府構築計画（2003年7月17日決定、2004年6月14日一部改訂）に基づき、領事業務の業務・システムを見直し、運用経費削減、業務処理時間の効率化を目指す。 （電子政府構築計画に基づき、個別府省業務・システムの対象となった。（2004年2月10日））

2. 企画段階における評価

(1) 企画段階

① 見直し方針の策定

（最適化の実施内容）

領事業務の業務・システムの見直し方針の策定、公表。

（最適化の実施状況）

2005年6月30日、外務省情報化推進委員会において、以下（1）～（6）を基本理念とする、見直し方針を決定した。

- （1）既存システムの運用・保守経費の徹底削減
- （2）旅券・査証行政の高度化に向けた次期システムの導入経費の適正化
- （3）経費削減に向けた調達体制の抜本的見直し
- （4）費用対効果を見据えた、国民に対するサービス及び利便性の向上
- （5）内部業務の効率化、質の向上
- （6）関係府省・都道府県との連携強化・インフラ効率化

領事業務の業務・システム見直し方針 URL

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/shocho/ryoji/pdfs/minaoshi.pdf>

2005年 4月～ 領事業務の現行体系の見直し、将来体系についての領事局内調査、分析

2005年 6月20日 見直し方針（案）を第16回CIO補佐官等連絡会議にて報告

2005年 6月30日 見直し方針を外務省情報化推進委員会において決定し、後日公表

### 【最適化実施の評価】

#### ○課題及び問題とその原因

- (1) 見直し方針策定に際しては、時間的な制約もあり、コンサルタント契約を行わずに策定したところ、詳細な分析がしきれないままとなった。
- (2) 第16回CIO補佐官等連絡会議(2005年6月20日)後に、同会議から「電子申請のインセンティブについて検討を求める」等の助言を2005年6月24日に受けた。

#### ○対策

- (1) 最適化計画策定時においては、詳細な分析をコンサルタント業者の支援を得つつ実施することとした。
- (2) 助言を踏まえ、今後検討していくこととした。

#### ② 最適化計画の策定

(最適化の実施内容)

領事業務の業務・システム最適化計画の策定、公表。

#### (最適化の実施状況)

2006年3月30日、外務省情報化推進委員会において、以下を実施内容とする「領事業務の業務・システム最適化計画」を決定した。

・領事業務について次に掲げる(1)～(5)の最適化を実施する。これにより、年間約5.5億円(試算値)の経費削減、年間延べ約5,788時間(試算値)の業務処理時間の短縮が見込まれる。

#### (1) 情報システムの拡充による定型業務の迅速化・効率化

受付・報告時におけるデータ入力を基本とする情報システムを整備する。このシステムの活用により、データの一元管理を推進し、重複入力排除、統計データの自動集計、在外公館と本省間の情報共有及びデータ品質の向上等定型業務の迅速化・効率化を図る。これらにより、対象業務全体で年間約5,788時間(試算値)の業務処理時間の短縮が見込まれる。(対象とする業務分野：在留届業務、司法共助業務、管海事務、戸籍・国籍業務、証明業務、邦人援護統計業務)

#### (2) 現行情報システムの運用経費の削減

旅券発給に係る情報システムの刷新や各種端末・作成機の統合、ホームページの統合等による運用経費の削減を進める。これらにより、年間約5.5億円(試算値)の経費削減が見込まれる。

#### (3) 領事サービスの向上及び人材育成

#### (4) 情報セキュリティの確保や個人情報保護に留意した業務・システムの安全性・信頼性の向上

(5) 情報共有による業務の標準化・高度化

領事業務の業務・システムの最適化 URL

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/shocho/g\\_system/pdfs/saitekika.pdf](http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/shocho/g_system/pdfs/saitekika.pdf)

2005年10月12日	企画招請方式(6社が応札)により領事業務の業務・システムの最適化にかかる最適化計画策定支援業者を選定し、野村総合研究所を採用
2005年11月28日	最適化計画策定支援業者と契約
2005年12月～	各部署の担当官よりヒアリング調査 (現状分析：成果物の作成) 現行体系策定 現行体系業務環境分析・主要課題分析  (将来体系・最適化計画に係る成果物の策定) 先進事例等資料収集 将来体系作成・基本システム設計 効果算定(RFI実施想定) 最適化計画(案)策定
2006年 1月～	最適化計画策定支援業者と最適化計画(案)を精査、調査仕様書案、提案依頼書案策定
2006年 3月～	最適化計画(案)支援業務
2006年 3月 2日	最適化計画(案)を第25回CIO補佐官等連絡会議にて報告
2006年 3月30日	最適化計画を外務省情報化推進委員会において決定し、翌日公表

【最適化の実施評価】

○課題及び問題とその原因

特になし

③パブリックコメントの実施

(最適化の実施内容)

領事業務の業務・システム最適化計画(案)に関するパブリックコメントを募集し、その結果を公表。

(最適化の実施状況)

総務省と調整を完了した領事業務の業務・システム最適化計画(案)に関するパブリックコメントを外務省ホームページ上及び総務省ホームページ上

で募集し、その結果を同ホームページ上にて公表したほか、領事分野という事柄の性格上、在外公館ホームページでも情報を掲げ、海外にいる国民からの意見募集にも努めた。

「領事業務の業務・システム最適化計画」（案）に関するパブリックコメントへの回答 URL

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/shocho/public/pdfs/saitekika.pdf>

2006年 3月 1日～ パブリックコメントの意見募集  
3月13日

2006年 3月30日 パブリックコメント結果の公表

#### 【最適化実施の評価】

##### ○課題及び問題とその原因

国民向けサービスの改善・強化を図る上で参考となった。

##### ○対策

領事業務の業務・システム最適化策定の参考とする。

### 3. 最適化の効果の評価

#### (1) 最適化効果指標の目標値に対する達成度の評価

##### 【最適化共通効果指標】

##### ①削減経費

・2005年（平成17年）度においては、最適化の効果は発現しない。

##### ②削減業務処理時間

・2005年（平成17年）度においては、最適化の効果は発現しない。

### 4. 最適化実施の総合評価

多様なシステムが併存しているなかで、領事業務のあり方の検討をも踏まえて全体を統一的に把握した最適化計画を予定通り17年度中に策定できた。最適化計画に基づいて最適化の着実な実施を図ることにより、期待される効果を出していくことが重要である。

### 5. その他

本計画の実施にあたっては、領事業務に関する府省共通業務・システム及び個別府省業務・システムの最適化実施状況や検討状況等を踏まえ、必要に応じて、関係部局や関係府省等との連携を図り、本計画を見直すものとする。

### 6. 添付書類

特になし。